

農業技術 プリズム

県育成のバレイショ「ながさき黄金」は、機能性成分のカロテノイドを多く含み、でんぷん価が高く食味が優れ、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性など複合病害虫抵抗性を持った品種です。

春作マルチ栽培では、品種の特性として小玉傾向となり、収穫が遅れると腐敗が発生します。そこで、春作において種芋の大きさの違いと植え付け時期による収量性、腐敗芋率を調査した結果、次のことが分かりました。図。

2月中旬に植え付けると、種芋一片重が40g以上で400kg

〆の収量を確保できました。植え付け時期が1月下旬でも2月中旬でも、出芽期からの生育日数が約70日で収穫適期を迎え

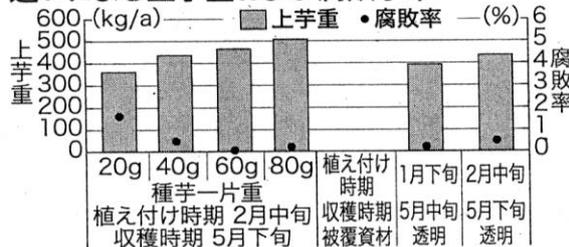
バレイショ「ながさき黄金」多収化

植え付けは2月中旬 黒マルチで腐敗抑制

ますが、植え付け時期2月中旬が収量は多くなりました。

また、透明マルチではなく、黒マルチを使用した場合は、収

春作における種芋の大きさと植え付け時期の違いによる上芋重および腐敗芋率



穫時期が1週間程度遅くなっても腐敗芋の発生が抑えられました。

より詳しい情報は、長崎県農林技術開発センターのホームページ上に公開している「ながさき黄金栽培マニュアル」をご覧ください。

(県農林技術開発センター農産園芸研究部門馬鈴薯研究室主任 飯野慎也)